



International
Labour
Organization

ALL TOGETHER AGAINST CHILD LABOUR

#REDCARD

ストップ！児童労働 キャンペーン 2018

5/15～7/15



www.cl-net.org / www.stopchildlabour.jp

世界では1億5200万人の子どもたちが働いています。
子どもたちを児童労働から守るため、
ストップ！児童労働 キャンペーンに参加しよう！

児童労働がなく、すべての子どもたちが教育を受け、スポーツを楽しめる世界をつくるために、私たちは#STOPCL アクションを支援していきます。



*投稿写真は広報物等に掲載させていただくことがあります。
→stopchildlabour.jp/2018/form
報告フォームから参加人数を報告しよう！
意見やアクションを表明しよう！
児童労働に反対するあなたの写真と宣言をアップする

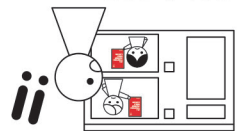


報告フォーム

#STOPCLをつけてSNSで

自分にもできるアクションが見つかるとかも

目標人数 10,000人！



みんなの写真をしてみる

HPからダウンロード



このペンダント

レッドカードを入手する

レッドカードをあげて児童労働にNOの想いを日本全国へ広げよう！

参加方法

- ① レッドカード+1アクションに参加しよう！
- ② 署名活動に参加しよう！
- ③ シェアして広めよう！

3つのお願い



佐藤浩希さん

1990年代、サッカーボール生産における児童労働が問題になりましたが、FIFA(国際サッカー連盟)や企業、NGOなどが協力して取り組み、児童労働がなくなった地域もありました。「児童労働をなくそう」の意思を示すレッドカードをあげ、また+1アクションとして自分ができることを宣言し、アクションを起こしてください。

みんなであげよう！レッドカード+1アクション #STOPCL

Facebook www.facebook.com/stopcl
Twitter @CLNET #STOPCL
Instagram @stop_cl #STOPCL

詳細は→stopchildlabour.jp/2018/signature/



キャンペーン事務局へ

② FAXまたは郵送で

① 署名用紙を入手

参加方法

アクションを求める署名に参加しよう。

日本政府へ、児童労働撤廃に向けた具体的な

アクションを届けよう！

ストップ！児童労働 50万人署名

児童労働 (Child Labour) とは 18歳未満の子どもに対して法律で禁止されている危険有害な労働と、原則15歳未満の子どもの義務教育を妨げる労働を指します。

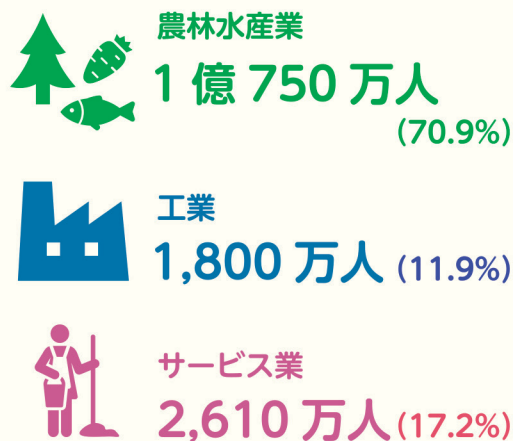
私たちと児童労働の関わり —コットンのサプライチェーンを例に—

インドは世界で最も多くコットンを生産しています。そのコットン種子生産で働く人たちの約25%が15歳未満の子どもたちです。衣服製造の過程にも児童労働は存在します。2014年バングラデシュの縫製工場ビル「ラナ・プラザ」が倒壊し、1,100名以上が亡くなり、その中には子どもも含まれていたと報告されています。また、この工場では日本でも売られている有名ブランドの洋服が作られていたこともわかっています。児童労働と私たちの生活は決して無縁ではありません。



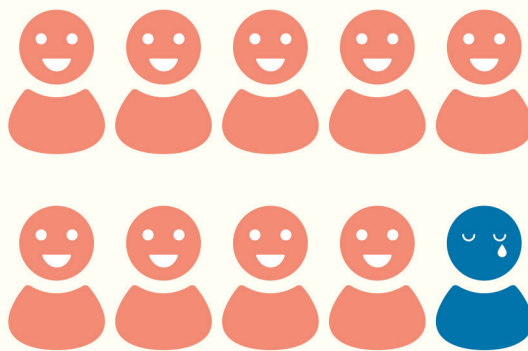
↑インドコットン畑の児童労働の様子

産業別の児童労働者数

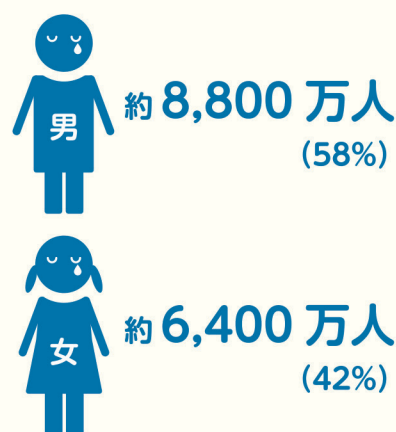


世界の5-17才の子どもの

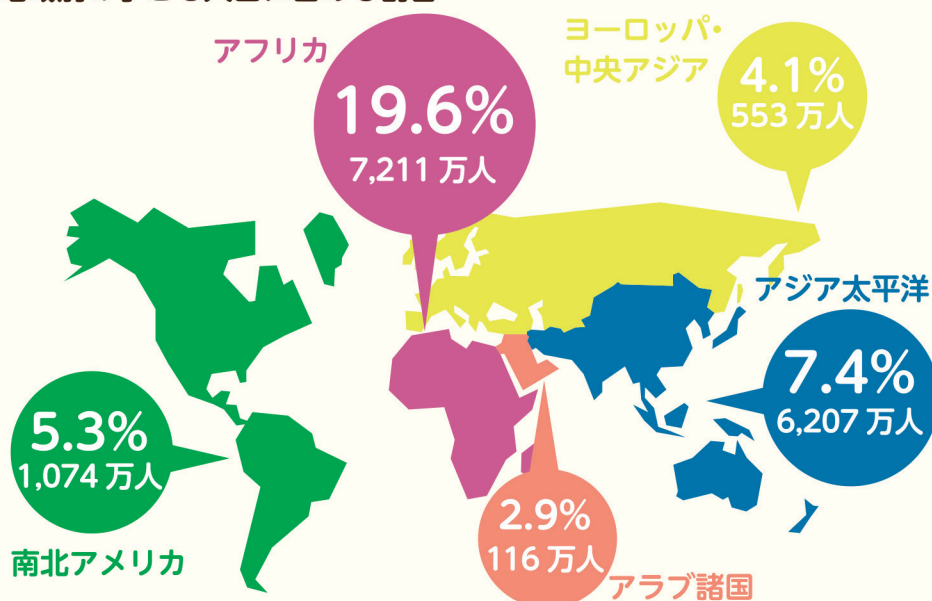
10人に1人が児童労働者



男女別の児童労働者数



地域別の子ども人口に占める割合



出典 | Global Estimates of Child Labour: Results and trends, 2012-2016

児童労働ネットワーク (CL-Net) とは

児童労働に問題意識を持ち、日本からこの問題の解決に貢献することを目指すNGO、労働組合などが加盟するネットワークです。このキャンペーンは、会員およびキャンペーン賛同団体と共に運営しています。

特別協力 | (株)ディック・ブルーナ・ジャパン、NGO-労働組合国際協働フォーラム 児童労働グループ
連絡先 | キャンペーン事務局・主催 児童労働ネットワーク (CL-Net)

URL: www.cl-net.org Tel: 03-3835-7555 E-mail: info@cl-net.org



持続可能な開発目標 (SDGs) の中に児童労働がターゲットに



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



2015年国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標8、ターゲット7に「2025年までにあらゆる形態の児童労働をなくす」ことが盛り込まれました。日本は児童労働を世界からなくすために発展途上国への支援に加え、国内でも取り組んでいかなければなりません。



キャンペーンイメージキャラクターは、ミッフィーの生みの親、オランダの絵本作家でグラフィックデザイナーのディック・ブルーナさんが描いたものです。